

大型積ブロック NSSブロック

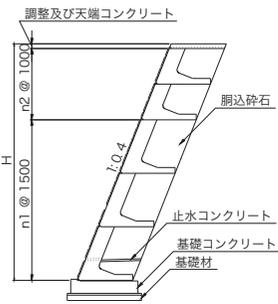
歩掛表

(100m²当たり)

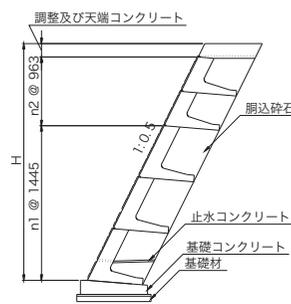
名称	規格	単位	数量	
			Aタイプ	AHタイプ
土木一般世話役		人	2.0	2.0
ブロック工		人	8.0	8.0
特殊作業員		人	4.0	4.0
普通作業員		人	4.0	4.0
トラックレーン	25t吊り	日	4.0	4.0
NSSブロック	2.0x1.077	個	46.43	—
	2.0x1.616	個	—	30.94
胴込め砕石	クラッシュラン(0~40)	m ³	1型	58.04
			2型	74.10
			3型	99.17
			4型	117.83(Bタイプ)
128.34(Bタイプ)				
中詰めコンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	3.24	3.24

※ブロック間連結鉄筋は別途計上。

■標準断面図(A+AH)



■標準断面図(全段AH)



施工要領

- 所定の基礎材を設けます。
 - 十分に転圧します
 - 5cmの均しコンクリートを打設します。
 - 均しコンクリート上に縦貫き孔鉄筋を設けます。高さ[2m以上]
 - 基礎コンクリートを打設します。[24N/mm²] (プレキャスト基礎ブロック設置)
- 水抜き孔または、施工金具を取り付け、基礎上にブロックを配列します。
 - 1段目は入念に行い所定の水処理を設けます。
 - 水抜き孔には、吸い出し防止材を取り付けます。
- 縦貫き鉄筋孔にコンクリートを充填します。[24N/mm²]
 - 裏込めは設計条件に見合ったもので行うこととします。
 - 転圧は30cm程度のまき出し厚に対し、ランマー等で入念に行うこととします。
- 打ち継ぎコンクリートは段ごとの重複を避けること[高さの80%程度]とします。
 - 2段目ブロックは嵌合(かんごう)突起を凹溝へかみ合わせながら配列し、同様の手順で組積します。
- 天端処理は、AまたはAH、B、BH型のブロックで高さを調整した後、現場の状況に合わせて天端コンクリートの寸法、形状を決定します。

※1 高さにより同一製品の鉄筋量の違いに注意してください。

施工現場写真



1.施工例



2.施工例



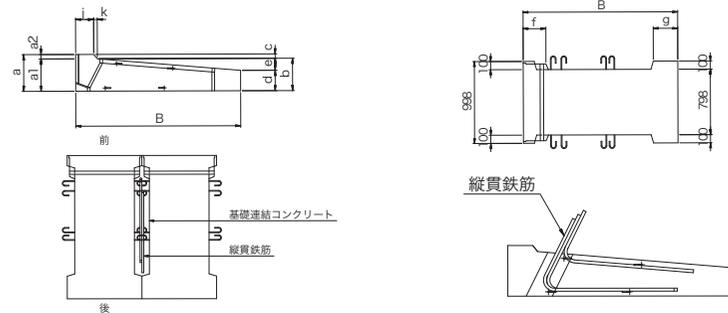
3.施工例



4.施工例

NSS 基礎ブロック

寸法図



寸法表

ブロック勾配	ブロックタイプ	寸法記号(mm)											参考重量(Kg)	
		B	a	a ₁	a ₂	b	c	d	e	f	g	j		k
1:0.5	1型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2型	1600	360	310	50	310	50	198	112	280	250	208	42	1175
	3型	1900	420	370	50	370	50	233	137	280	300	280	42	1311
	4型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—